

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定率法により減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準

退職給付に備えるため、当期末において発生していると認められる額を期末自己都合要支給額に基づいて計上している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	9,000,000	0	0	9,000,000
小 計	9,000,000	0	0	9,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	698,801	300,000	0	998,801
小 計	698,801	300,000	0	998,801
合 計	9,698,801	300,000	0	9,998,801

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(内、指定正味財産 からの充当額)	(内、一般正味財産 からの充当額)	(内、負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	9,000,000	-	(9,000,000)	-
小 計	9,000,000	-	(9,000,000)	-
特定資産				
退職給付引当資産	998,801	-	-	(998,801)
小 計	998,801	-	-	(998,801)
合 計	9,998,801	-	(9,000,000)	(998,801)

4. 引当金の明細

引当金の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	698,801	300,000	0	0	998,801

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
什器備品	545,190	539,787	5,403
合 計	545,190	539,787	5,403

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
県連補助金	岡山県法連	0	476,600	476,600	0	一般正味財産
助成金						
全法連助成金	全法連	0	12,630,400	12,630,400	0	指定正味財産
合 計		0	13,107,000	13,107,000	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	12,630,400
事業計上による振替額	12,630,400
経常外収益への振替額	0
目的達成による指定解除額	0
合 計	12,630,400

8. 重要な後発事象

特になし